

図書館員のひみつの本棚 第 221 回

今月は、ひとりぼっちのうさぎにお友達ができるお話を紹介します。

『だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ』 安房 直子／作 ひがし ちから／絵 偕成社(2015 年)
¥1400(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆★ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

だんまりうさぎは働き者で、一生懸命、畑で働くので秋には一人では食べきれないほどの野菜がとれます。だんまりうさぎは誰かと一緒に食べたいと思うけど、一緒に食べてくれる友達は一人もいません。ある日、だんまりうさぎの元に赤いスカートのうさぎ、おしゃべりうさぎがやってきて、おもちと野菜を交換してほしいとお願いされます。

<子どもに手渡す時のポイント>

引っ込み思案なだんまりうさぎが、元気で社交的なおしゃべりうさぎの力を借りながら、ほかの友達とも交流していくお話です。自分のペースでやればいいんだよ、と力がもらえる作品です。

1冊に2つのお話が入っており、挿絵も豊富なので、本を読み慣れていない子にもおすすめです。

この本の続編として、「だんまりうさぎときいろいかさ」「だんまりうさぎとおほしさま」「ゆきのひのだんまりうさぎ」が出版されています。この本が気に入った子に、是非、お勧め下さい。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。